

岐阜新聞真学塾

出題 蟻雪ゼミナール 大垣駅前校・築樋拓真

問題【国語】

次の①から④のそれぞれの二字熟語と熟語の組み立てが同じものを下のア～エの中から一つずつ選びましょう。

- ① 日没 ② 激動 ③ 青空 ④ 停車
ア 読書 イ 座席 ウ 国営 エ 最高

豆知識 雑学コラム

二字熟語の構成

今回は二字熟語の組み立てについての問題です。普段の生活で二字熟語の上の文字と下の文字がどういう風に組み合わせてあるかについて、気に留めることはあまりないと思います。しかし、二字熟語の構成を捉えることで、初めて見た二字熟語でも意味を推測することが出来ます。それでは熟語についてみていきましょう。

熟語の構成にはいくつかの種類がありますが、今回問題で出てきたのは以下の4通りです。

- ① 「日が没する」で「日没」のように、上が主語で、下が述語の関係になる熟語
- ② 「激しく動く」で「激動」のように、上の言葉が下の用言（動詞や形容詞、形容動詞）を修飾している関係の熟語
- ③ 「青い空」で「青空」のように、上の言葉が下の体言（名詞）を修飾している関係の熟語
- ④ 「車を停める」で「停車」のように、上の言葉が述語で、下が目的語（～を）、補語（～に）を表す言葉の関係になる熟語

さて、「日が没する」で「日没」は普通の日本語と同じ言葉の順番で分かりやすいですよね。一方、「車を停める」で「車停」にならずに「停車」になるのは日本語の言葉の順番の逆で不思議ですよね。これはいったいなぜなのでしょうか？ 答えは漢文（中国語）言葉の順番のルールと関係があります。英語では「I(私が)saw(見た)him(彼を)」のように「主語→述語→目的語（～を）、補語（～に）」という順番で言葉を並べて、文を作りますよね。漢文でも英語と同じように「主語→述語→目的語、補語」の順番で言葉を並べます。ですから、上に述語が来て、下に目的語が来る熟語はこの漢文のルールにのっとって作られた熟語になります。

高校では、文字を読む順番を知るヒントになる返り点なしで漢文を読むことを求められることがあります。中学校で学んだ熟語の構成の知識を使って、漢文を読むヒントにしてみましょう。

【解答】

- （ア）車停（車を停める） ④
（イ）座席（座る場所） ③
（ウ）最高（高いところ） ②
（エ）国営（日本の国） ①